

「愛技会」賛助会員会社からの意見集約及び分析結果[令和4年度]

1. 日 時：令和4年10月14日(金)
2. 調査対象：「愛技会」会員の役員会社（11社）
3. 場 所：従来は対面会議であったがコロナ禍継続のため「書面開催」とした。
4. 集約した意見
 - (ア) 入学者選抜について
 - ・明確な方針があり、選抜方法も明確になっている。
 - ・入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)が、明確に記載されており理解しやすい。
 - ・どのようなルートからの学生であっても「面接」を重視しているとの記述から人財の可能性を一人一人に寄り添って選考をしていこうという御校の姿勢に共感致しました。
 - ・外国人留学生には、日本語能力やコミュニケーション能力が高い人材を求めているので、特に重視していただきたい。
 - (イ) カリキュラムの内容・学修方法・学修支援・学修成果について
 - ・しっかりとしたカリキュラムが組まれており、支援体制も充実している。
 - ・教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)を明確に示している。
 - ・自動車整備に関するカリキュラムに留まらず、一般教養の講座内容から幅広い見地から社会で活躍できる人財育成に重きを置いている育成方針に共感致しました。
 - (ウ) 教員組織について
 - ・教育課程の編成、実施の方針に合わせて組織が編成されている。
 - ・専任教員の教育研究活動実施状況を明確に示している。
 - ・専任の教員を充実させている点から、育成体制の品質が充実していると感じました。
 - (エ) 施設・設備について
 - ・施設、設備も充実していて素晴らしい。
 - ・最新の施設・設備となっており学生からも好感を持たれている。
 - ・綺麗で整った実習施設を始め、学びやすい環境であると感じております。
 - (オ) 会社との接続について
 - ・外部機関とのSD活動も積極的である。
 - ・外部講師の講習会を積極的に採用し学生と社会との接続を行っている。
 - ・地域への公開講座や高校連携内容を拝見し、学内に閉じず、地域社会への貢献に力を入られていることを知り、共感致しました。
 - (カ) その他の意見
 - ・愛技会会員会社と教員の皆様及び学生さんの交流を考えていただきたいと思います。また、学生さんのインターシップの期間をもう少し長く取れると企業の風土も理解出来ると思います。
 - ・近年、自動車電気基礎や電装が苦手な学生が多くなってきていると感じており、電気・電装

系の実習や座学の強化をお願いします。

5. 集約した意見への対応

- ①本学の「建学の精神」に基づいた3ポリシーの方針は、概ね受け入れられていると思われる。
- ②後援会企業は約170社程度で例年推移しており、今回の意見調査に限らず学内企業説明会や技術研修会でも在学生の姿を通しての本学の教育成果を実感いただける機会を設けているが、これらの機会を一層増やし、企業との連携をより緊密にしていく必要がある。
- ③高度化する自動車技術に対応できる柔軟な思考力と、それを下支えする基礎的な教養をバランスよく修得できるような教育改革に邁進する必要がある。

以上